

競技に関する注意事項

1 競技会全般に関して

- 本大会は 2026 年度日本陸上競技連盟競技規則および、本大会申し合わせ事項により実施する。また、競技者は日本陸連「競技会における広告及び展示物に関する規定」を適用し、違反する場合は注意を行う。本大会のスタート動作における競技規則は、国内ルールを適用する。
- 各団体代表者(学校については引率教員)は、競技の招集開始時刻までに受付を済ませておく(受付がない場合、競技者は競技に出場できない)。
- 招集所、招集時間について
 - 招集所は、1 階正面玄関ウッドデッキに設ける。
 - 招集時間は、タイムテーブルに記載されている時間とする。出場種目が重複し、競技中に招集時間が設定されている場合は、最初の招集の際に申し出る。
 - 招集が完了した後、スタート 10 分前にはスタート地点及び競技場所に集合すること。
 - 四種競技の招集所での招集は、最初の種目時のみ行う。2、3 番目の競技については、トラック種目は 10 分前、フィールド種目は 30 分前に競技場所に集合すること。なお、最終種目では、3 種目までの合計得点で番組編成された組・レーンを確認し、10 分前までに招集所で腰ナンバーカードを受け取ってから、競技場所に集合する。番組編成は事務所入り口付近に掲示する。
- 事故・怪我の発生について
主催者は、競技会中やウォーミングアップ中などに発生した事故・怪我について、応急手当は行うがその責任を一切負わない。
- ウォーミングアップについて
 - 本競技場
 - 本競技場内でのウォーミングアップは競技および運営に支障のない範囲で行って良いが、逆走は禁止する。競技中の選手に助力となるような行為やホームストレート、インフィールドでのウォーミングアップは禁止とする。朝のウォーミングアップについては、準備が完了した後、第 1 種目開始 15 分前まで行うことができる。その際、ホームストレート 6～9 レーンはハードルを設置するので、十分注意して練習すること。
 - ハードル種目については、下記の通りホームストレートにハードルを設置する。

種目	時間	備考
男女ハードル決勝	15:30～16:00 (男子 1500m 競技中)	6・7 レーンに男子のハードル、8・9 レーンに女子のハードルを設置する。
 - ウォーミングアップ場 [野球場]
 - 終了時刻は最終種目招集開始時刻までとする。
 - 跳躍練習、投擲練習、スパイクを利用した練習は実施できない。
 - 他人の怪我につながる可能性のある行為はしない。
- 施設設備の使用について
 - 1 階正面玄関ウッドデッキを控え場所として使用しない。(緊急時には、避難場所として使用する。)
 - 各自で出したごみは必ず持ち帰ること。近隣のゴミ箱等に捨てることはしない。

7. 写真及びビデオ撮影について

- (1) 撮影に使用できる機器はスマートフォンまたはタブレットのみとする。デジタルカメラ、ビデオカメラ、一眼レフカメラ等での撮影は禁止とする。
- (2) 本人及び保護者の了承がない撮影を禁止する。
- (3) 下記のエリアはどのような人物であっても撮影禁止とする。
 - ・グラウンドレベルでの撮影
 - ・各種目のスタート後方
 - ・走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の助走後方と着地前方
 - ・走高跳、棒高跳のマットに向かった正面（クリアランス動作中）
- (4) スタートブロックの足合わせを行っている間や試技を待っている間、身体を動かしている間など 競技の準備を行っているときは撮影禁止とする。
- (5) 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断する場合は、速やかに警察及び関係機関に連絡をする。

2 競技に関して

1. アスリートビブス（ナンバーカード）について ※2026年度のナンバーを使用すること

- (1) ユニフォームの胸、背に確実につける。ただし跳躍競技は、胸または背につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。
- (3) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。
- (4) リレーのオーダー用紙は、招集完了 60 分前までに招集所に提出する。用紙は招集所に準備する。

2. 競技について

- (1) トラック競技の走路順・フィールド競技順は、プログラム記載順とする。
- (2) 競技者の変更は、いっさい認めない。
- (3) 800m を 9 名以上で実施する場合、外側のレーンから順に 2 名ずつ入れる。欠場者が出た場合、内側から若い腰 ナンバー順につめる。招集が完了し、出場者が確定した後、スタートレーンを確定する。
- (4) ハードルの規格は以下のとおりとする。

	高さ	台数	スタート～1 台目	ハードル間	10 台目～フィニッシュ
男子 110mH(0.914m/9.14m)	91.4cm	10 台	13.72m	9.14m	14.02m
女子 100mH(0.762m/8.00m)	76.2cm	10 台	13.00m	8.00m	15.00m

- (5) フィールド競技については以下の通り行う。

- ① 長さを競う種目の試技は 3 回の試技後、ベスト 8 を選出し残りの 3 回の試技を行う。
- ② 走幅跳で助走路に使用できるマーカーは、主催者が用意したマーカー 2 個までとする。
- ③ 男女走幅跳、女子走高跳は 2 ピット、男子走高跳は 1 ピット使用して行う。
- ④ 走高跳のバーの上げ方は以下の通りとする。

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	以降3cm
女子走高跳	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m43	1m46	以降3cm	
男子四種走高跳	1m25	1m30	140cmまでは5cm以後は3cm						
女子四種走高跳	1m15	1m20	140cmまでは5cm以後は3cm						

※天候その他特別な状況が生じた場合に限り、審判長の判断により変更されることがある。

(6)記録の掲示は事務所入り口付近で行う。上位者のアナウンス発表も併せて行う。

(7)競技者は、勝手に競技場所を離れることやTR6.3.2で禁止されたビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持、または使用することができない。

(7)不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄色のカード、除外は赤色のカードを示すことによって競技者に知らされる。

3. 競技用靴について（競技規則 TR5.2 参照）

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳、ジャベリックスローは12mm以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。

ランニングシューズで出場する場合、靴底の厚さはすべての種目で20mm以内とする（TR5）。使用するシューズが適正であるかは、各自でWAのシューズリストを確認しておくこと。

*WAシューズリスト→ LIST OF APPROVED ATHLETIC SHOES

違反の場合は、失格扱いとなる。

4. トラック競技の決勝進出者について

(1)進出者の発表は、掲示およびアナウンスで行う。

(2)進出者のプラスアルファについては、記録のよいものから決定する。

(3)進出者の決定において同記録であった場合は、1000分の1秒まで考慮して決定する。それでも決定できない場合は、抽選を行い決定する。

5. 表彰について

(1)各種目の1～3位には賞状を授与する。

(2)本部前にて表彰式を行うため、入賞者は成績発表後、速やかに本部へ来ること。

6. 競技器具について

原則として競技場備え付けのものを使用する。

3 その他

1. スタンドへの出入り口はスタンドに1か所設置する。開門時刻は7時30分とする。

2. 各団体の控え席や待機場所は、スタンド以外の競技場内に設置できない。

3. プログラム記載の氏名や所属等に訂正があれば、学校受付後、本部に申し出る。

4. 応急処置を必要とする事故が生じたときは、本部席において処置を行う。

なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。

5. 貴重品は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。